

12月13日（土） 14：30～16：00

テーマ 「SAKE が世界を開拓する

日本の酒文化の世界への発信！」

講師 清酒 梵 BORN 醸造元 加藤吉平商店  
十一代目 当主 代表 加藤 団秀 氏

会場 福井県生活学習館（ユーアイ ふくい）



地酒「梵」の海外展開を手掛ける加藤吉平商店の代表 加藤団秀氏が、「梵」の魅力と、海外での事業展開にあたってのポイントをお話してくださいました。自分の酒蔵・商品の価値をよく理解しPRできるようにするだけでなく、現地の政治や経済情勢の他、飲酒文化などの情報を調査した上で輸出するなど、どんな事業にでも参考になるお話がたくさんありました。

参加者からは、「梵が世界中に輸出されているのは知っていたが、計画性を持って海外展開していたことが理解でき、感銘を覚えた。」などの感想が寄せられました。

12月23日（火・祝） 10:30～12:00

テーマ 「国際化時代と日本語

—日本人の日本語知らず」

講師 金沢大学 人間社会学域 国際学類

国際学類長 加藤 和夫 氏

会場 福井県生活学習館（ユーアイ ふくい）



日本語学、社会言語学がご専門の加藤和夫先生が、国内外で増加する日本語学習者数の実態や、グローバル時代に求められる日本語への向き合い方などをお話してくださいました。外国人の誤用などから日本語のルールについて考えると、これまで身近すぎて気づかなかった発見がいくつもありました。母語について考え、発見する喜び、楽しみを感じられる良い機会となりました。

参加者からは、「日本語の特徴を理論に基づいて分かり易く解説され、日本語への関心を深めることができました。外国人の誤用から考えるというお話は、グローバル時代だからこそだと感じました。」「とてもおもしろかったです。副題の「日本人の日本語知らず」を痛感しました。」などの感想が寄せられました。

1月11日（日） 10:30～12:00

テーマ 「世界から見たユニークな日本」

講師 福井工業大学 工学部経営情報学科  
教授 松岡 博幸 氏

会場 福井県生活学習館（ユーアイ ふくい）



国際的調査データや外国人の生の声などを元に、日本や日本人が世界からどのような評価を受けているかについて分かりやすくご説明いただきました。「言動に節度がある。礼儀正しい。」といった外国からの評価を知り、日本の良さを再認識するとともに、世界についてよく知ることが自国の理解につながることを学ぶ良い機会となりました。

参加者からは、「様々な視点から日本をとらえることで、私たち自身も自国の特性を改めて知ることができた。具体例も取り入れられていて、大変聞きやすかった。ランキングで世界の国々と比較することで、より日本のユニークさを感じることもできた。」「日本人もまだまだ捨てたものではないと感じました。外国から高く評価されていることに、とてもうれしさと安心を覚えました。」などの感想が寄せられました。

1月17日（土） 14:00～15:30

テーマ 「日本人親子のバイリンガル子育て奮戦記?!」

講師 株式会社ふくいコミュニケーションズ  
代表取締役社長 澤崎 敏文 氏

会場 福井県生活学習館（ユーアイ ふくい）



ご自身の英語による子育ての13年間にわたる詳細な記録を元に、真の国際化の意味について、分かりやすくお話しいただきました。習得させる言語が何であるかということより、それを使って何を伝えるかが大切であることを学ぶとともに、ユニークで微笑ましいエピソードから親子の愛情を感じ取ることができました。

参加者からは、「英語を学ぶ目的を考えさせられた。お子さんの小さい頃から現在に至るまで音声・映像を紹介してくださったので、とても理解しやすかった。深い話が聞け、非常に良い講演だった。」「福井でこういうことができる、やっているということが、とても新鮮な驚きだった。」などの感想が寄せられました。

1月24日（土） 10:30～12:00

テーマ 「越前打刃物 製造から小売へ 日本から世界へ」

講師 有限会社 龍泉刃物

代表取締役社長 増谷 浩司 氏

会場 福井県生活学習館（ユーアイ ふくい）



福井の伝統産業の越前打刃物を技術発展させ、今日の海外への販路拡大に至る経緯について、分かりやすくお話しいただきました。デザイン性と機能性を追求したステーキ・ナイフの開発や他業種とのコラボレーションなどのエピソードから、機会を活かすために挑戦と変革を続けることの大切さを感じ取ることができました。

参加された方々からは、「人との出会いをチャンスととらえ、技術の研鑽、また、新しいものへの挑戦は、素晴らしいと感じました。」「資料が簡潔で、説明も端的で理解しやすかった。エピソードを盛り込んだ話の展開で聞き飽きなかった。」などの感想が寄せられました。